

表4 各大学におけるホルムアルデヒド低減設備の例

大学名	改修 年度	採用したF A曝露低減設備							A測定値		B測定値		その他の測定方法		経費（万円）
		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	前→後	前→後	平均濃度		最高濃度		
											前→後	前→後	前→後	前→後	
京都大医	H15		○									0.5→0.2	2.0→0.2	記載なし	
慶応大学医	H18		○		○			1.30→0.27	1.71→1.43					3,000	
大分大学医	H17		○				○					1.4→0.3	4→0.2	6,000	
愛媛大学医	H19			○				0.33→0.1	0.33→0.05					7,000	
産業医科大	H16			○		○		1.02→0.066	1.36→0.077					2,200	
山口大学医	H17			○		○						0.36→0.19	0.63→0.035	記載なし	
滋賀医科大学	H16			○		○						1.5→0.7	3→0.5	3,100	
日本医科大	H18			○			○ ○					2.2→0.6	3.6→1.9	5,500	
岩手医大歯	H12.19			○			○ ○	0.3→0.08	0.2→0.03					3,000	
日本歯科大学	H10			○			○ ○					4→2	6→2.7	2,000	
自治医科大学	H19				○			0.36→0.21	0.78→0.22					記載なし	

- 1 プッシュプル型排気システム(プッシュプル型排気装置・排気ダクト敷設)
- 2 プッシュプル型FA処理装置
- 3 局所排気システム(局所排気装置組込実習台・排気ダクト敷設)
- 4 局所処理装置付き実習台
- 5 全体換気
- 6 光触媒塗料の塗布
- 7 その他